

発刊のことば



岡山県畜産年表編集委員会

社団法人 岡山県畜産会

会長 渡 邊 明 喜

昭和63年における本県の農業粗生産額は、1,807億円で、このうち畜産部門の生産額は、565億円(31.3%)に達し、現在では本県農業を支える主要産業にまでに発展定着してまいりました。

本県畜産の今日までの発展成長の道程を繙いてみるとそれぞれの地域定着から現在では企業経営へと大きく進展がみられ今後、更に本県農業の基幹部門として一層の充実発展が期待されております。

明治開国以来100有余年、幾多の先覚者並びに先輩諸氏が血の滲むような不屈の努力を重ねられ、あらゆる困難と試練を乗り越えて今日の本県畜産の基礎を築けたことに対し改めて深く敬意を表し、心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、この度、畜産振興のため長年携わってきた私たちの同僚、浅羽昌次氏が昭和58年以来5年間にわたり県立図書館をはじめ、関係各機関に足を運び各種の文献、資料をもとに明治、大正、昭和における畜産の主要な出来事を調査し岡山県畜産年表として取り纏められた資料を拝見し、畜産発展の移り変りを知るうえで貴重な資料であると考え、印刷製本し出版いたしたらと有志に議り同意を得たので、関係各機関のご協賛をいただき今回出版の運びとなりました。

本書が本県畜産の発展に貢献された多くの先人の徳を忍ぶとともに、今後の畜産振興のために些かでも参考となれば幸甚に存じますと共に、この年表が「岡山県畜産史」と同様に広く活用されることを願っております。

おわりに、本史の刊行に多大のご協力をいただきました岡山県農協印刷株式会社へ心からお礼を申し上げます。